

## 平成26年度千葉市NPO活動大賞エントリーシート

提出日 平成26年10月24日

|              |   |                         |
|--------------|---|-------------------------|
| エントリー番号      | 13  | ※エントリー番号欄には何も記載しないでください |
| 1 エントリーする活動名 | DV被害者を支援する活動  |                         |
| 2 法人名        | 特定非営利活動法人 DV被害者支援活動促進のための基金   |                         |
| 3 代表者氏名      | 渥美雅子  |                         |
| 4 主たる事務所の所在地 | 千葉市中央区中央3-17-2 ライオンビル302  |                         |
| 5 法人の連絡先     | 090 7907 7339   |                         |
| 6 活動の目的      | DV被害者支援活動に対して活動資金並びに必要な情報を提供する事業を行い、民間の自発的なDV被害者支援活動の活性化及びDV問題の社会的認識を広めることを目的とする。   |                         |
| 7 活動の概要      | <p>皆様から寄せられた寄付金で2団体に助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人アーシャ<br/>(同行支援など被害者の自立に向けた活動を行う団体)<br/>・・・PC,FAX機など20万円</li> <li>・NPO法人女性ネット Saya-Saya<br/>(シェルター運営や被害者支援を多角的に行う団体)<br/>・・・シェルター暖房器具など20万円</li> </ul> <p>DV防止啓発講座開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“子どもが主人公の面会交流”講師：山口恵美子</li> </ul> <p>DV無料相談 毎週月曜2時~4時</p> |                         |
| 8 工夫した点      | <p>DV防止啓発講座の企画は、今関心の高い問題を取り上げることができた。離婚の際に親子が定期的に会う「面会交流」を取り決めるよう民法が改正され、1年が過ぎた。</p> <p>一緒に暮らしていない親子の面会には、父母間の感情のもつれや、DVが原因で離婚した場合には対応が難しくなる。現在関係者が試行錯誤を続けている問題において「子の利益を最優先すること」についての講演会を開催した。予定参加者数を上回る参加者数で関心の高さがうかがえた。講演後は面会交流を題材にした理事長夫妻による講談を披露、それには加害者は理論や理屈が通らないというメッセージも込めた。</p>   |                         |
| 9 今後の活動の展望   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・この問題への啓発を行い広く理解と協力を求める活動とDV被害者支援をする団体への助成/DV防止啓発のための講演会開催/DV無料相談等の活動を通し、DVのない社会の実現のために歩み続ける</li> </ul>  |                         |
| 10 法人からのPR   | <p>自分らしく 生きるために<br/>子どもたちを健全に育てるために<br/>親しい間柄の人からの暴力、DVをなくすために<br/>DV基金は活動しています</p>   |                         |